

## 8.2.1 国内機関

以下では、国内の主なデータ配布機関の概要および入手可能なデータを概説する。

## (1) 資源・環境観測解析センター (ERSDAC)

ERSDAC は、JERS-1/OPS,SAR ,Terra/ASTER を中心とする地球観測衛星データの処理・解析により、資源分布の指標となる岩石や地質構造の抽出技術等、リモートセンシングデータの資源探査への利用に関する研究開発を行うとともに、環境分野への応用研究も行っている機関である。また 2004 年に打ち上げ予定の宇宙開発事業団の陸域観測技術衛星 (ALOS) に搭載される、PALSAR データの処理・解析も行うことが予定されている。現在、ERSDAC では、ASTER の運用、処理・解析および一般ユーザに対するデータの配布を行っている。なお、ASTER データの価格は、1 シーンあたり 9,800 円 (媒体料・送料込、税別) となっている。

## (2) リモートセンシング技術センター (RESTEC)

RESTEC は、リモートセンシングに関する研究開発および研究成果の普及を目的として、1975 年に設立された機関である。現在は、宇宙開発事業団が行う地球観測プロジェクトの支援を行うとともに、同事業団が運用および受信する衛星データの配布機関として全世界にデータを配布している。また、海外の衛星データ配布機関との提携・契約により海外衛星データの国内ユーザ向けの配布を行っている。RESTEC が扱う衛星データの種類は多岐に渡っており、宇宙開発事業団の衛星の他、Landsat シリーズ、SPOT シリーズ、IRS、RADARSAT、ERS および IKONOS 等の国内受信分のデータを取り扱っている。また、海外受信分のデータについても取り扱いを行っており、Landsat データについては EROS Data Center(米国)、GISTDA(タイ国)、ACRES(オーストラリア)、RSGS(中国)が取り扱うデータの入手が可能である。なお、RESTEC では、宇宙開発事業団における海外衛星の国内受信業務の見直しにより、Landsat-5 号のデータの受信を 2001 年 6 月 30 日中止したほか、SPOT シリーズの受信も 2002 年 3 月 31 日に終了している。なお、RESTEC が配布するデータの価格は、宇宙開発事業団の衛星(MOS-1/1b,JERS-1, ADEOS, TRMM)によるデータを対象とした一律実費配布と、海外衛星によるデータを対象とした一般配布に分けられている。

## (3) 日本スペースイメージング (JSI)

日本スペースイメージング社 (JSI) は、米国の商用高空間分解能衛星である IKONOS の日本地域の撮影権と販売権を有する企業であり、三菱商事の 100%出資により設立されている。JSI では独自の受信局を神奈川県藤沢市に有しており、受信されたデータはオンラインで東京八重洲の処理設備に転送され、データ処理後に顧客へ届けられる。なお、デ